

平成 23 年度 市政運営会議 議事概要

日時	平成 23 年 8 月 30 日 (火) 14:30～15:00
議題	有機光エレクトロニクス産学連携実用化基盤センター(仮称)の支援について
出席者	高島市長、山崎副市長、渡邊副市長、大野副市長、総務企画局長、理事、財政局長、経済振興局長、住宅都市局長、理事 ほか
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ○福岡市が元岡土地区画整理組合から用地を 24 年度当初に購入し、整備主体の(財)福岡県産業・科学技術振興財団に無償貸与する。 ○当面(5 年間程度)は運営費に関して、福岡県とともに支援する。 ○市の方針について 9 月議会で報告する。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ○市民に説明する時には、技術的な専門用語だと分かりにくいので、より平易な言い方にかえて欲しい。その際は、福岡市として力を入れていく環境・エネルギーの取組の一環として省エネや創エネに寄与するといった視点も入れて欲しい。 ○せっかく良い施設ができ、協力させていただく以上は、関連するアジアのメーカーの積極的な誘致など、全力で対応して欲しい。 ○事業費については、その積算根拠など精査が必要である。 ○当「有機光エレクトロニクス産学連携実用化基盤センター」で研究される有機 EL や太陽光発電は、政府の新成長戦略において推進を図ることとされている環境・エネルギーなどのグリーンイノベーション分野であり、当施設への支援は、本市の成長のために望ましいと考える。 なお、総合特区制度の活用にあたり、当施設での研究開発や、当施設を核とした九州大学学研都市への企業集積に対する国の支援措置も講じられることから、当該学研都市を特区対象エリアとする方向で検討しており、総務企画局とも協力して進めていただきたい。 ○今回のセンター立地を契機として、周辺への企業・研究所の誘致活動に積極的に取り組んでいただき、本市の雇用創出や税収拡大へ着実につなげていただきたい。 ○今回整備が予定されている「有機光エレクトロニクス産学連携実用化基盤センター」は九州大学学術研究都市が標榜する「知の創造・交流の促進」に大きく寄与する施設として、非常に望ましい施設と考えている。

	<p>ダイハツ九州の開発センターの予定地の横であり、元岡地区のまちづくりの進展においても、既存の産学連携交流センターと共に、研究開発施設の立地の牽引役として相応しい施設であることから、住宅都市局も地元との協議を含め協力して進めていきたい。</p>
--	---